

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊田機械工業株式会社工場	階数	地上1F
建設地	静岡県焼津市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	10人
地域区分		年間使用時間	2,205時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2027年5月 0.0	評価の実施日	2025年10月27日
敷地面積	7,118㎡	作成者	池田
建築面積	2,604㎡	確認日	2026年2月27日
延床面積	2,431㎡	確認者	中島



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 本計画では、生産工程を踏まえながら最小限の室構成による大空間計画を採用している。また、適切な天井高さや屋根形状をとり、生産環境の安全性・快適性と将来の設備更新への柔軟性に配慮した。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> 開け閉めしやすい開口部を設け、自然換気と機械換気を組み合わせて室内の熱・空気環境に配慮した。また、壁面の窓ガラスから自然光を取り入れ、人口照明と併用することで明るい作業環境を目指した。	<b>Q2 サービス性能</b> シンプルな室構成と適切な天井高さにより、機械レイアウトや更新の柔軟性を確保し、特にクレーン更新にも対応できる長寿命な建物とした。またオイルミストが発生する室には想定域に仕上げを施し、清潔性と維持管理性を高めて	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 道路・境界から適切に後退し、緑地を確保することで周辺環境へ配慮している。また大規模な工場建屋において、道路側外壁面を色彩により分節化し、単調な大壁面を避けスケール感緩和を意図した。
<b>LR1 エネルギー</b> 腰窓及びハイサイドライトによる自然光の取り入れと高効率照明の併用で負荷低減に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> シンプルな室構成と必要最小限の仕上げとすることで材料使用量を抑えつつ、耐久性と維持管理性に優れた仕上げを選定し、長期的な資源消費の抑制に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地境界から適切に後退し緑地を確保することで周辺環境への負荷を軽減し、周辺への景観的・環境的配慮を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される